中央大學新聞

第848号　昭和43年10月8日　火曜日　週刊

定価10円　発行所　中央大学新聞学会　東京都千代田区神田駿河台3の9

TEL (251) 0510 (255) 6547

昭和8年9月21日第3種郵便物認可　（毎月4回火曜日発行）振替口座東京47046

法律書・経済書

文英堂書店

神田駿河台下 TEL.(291) 8777

Coffee Shadow in front of Chuo Univ

TEL (251) 0510 (255) 6547

low.Shadow.Shadow.Shadow.Shadow.Shadow.Shadow

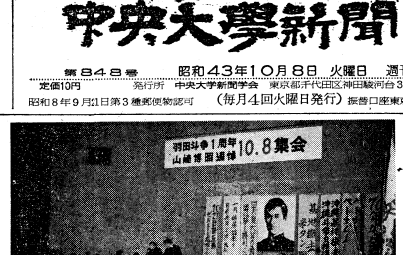
新宿を包む 反戦の巨大な波

労学一万人がデモ 百五十人が検挙さる

日比谷で「記念集会」

10・8羽田闘争記念

八日夜、「羽田闘争」「高校」、山崎首相訪問、10・8集会」が日比谷野外音楽堂で、全学連（反帝系、中核派）をはじめとして三千八団体八千人を集めて開かれた。その前、新宿で、「米軍タンク撤去」を叫ぶ機動隊に、千名の学生、労働者、市民など約一万名が激突した。新宿駅東口付近は騒然とし、学生、青年労働者、民の集会に学生が続いた。



日比谷野外音楽堂での「10・8記念集会」

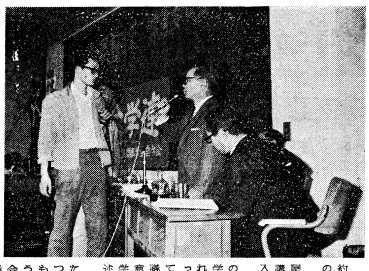
10・8集会、三里塚・芝山連帯、ベトナム戦争反対、沖縄返還などを掲げ、次に来るべきいろいろな闘争の高まりを予感させるものであった。10・8集会は、「10・8集会」は、午後6時すぎ、羽田闘争で倒れた山崎博昭君に対し黙祷を捧げ、次に来るべきいろいろな闘争の高まりを予感させるものであった。10・8集会は、三里塚・芝山連帯、ベトナム戦争反対、沖縄返還などを掲げ、次に来るべきいろいろな闘争の高まりを予感させるものであった。

横をこわして新宿駅構内になだれ込む学生達

対法人団交 何ら進展見れず

「予算凍結は有効」学長代行語る

2日 昼自ほか一千人が参加



法学部長自治会の対不公開交（十七日）

屋敷部長自治会は、「団交」、大学当局が法人団交を開いて、これには学側の方にも責任がある。学生の要求を聞いて、これに対応しなければならない。学生側

学費闘争以後……

〔3〕

全学四年生連絡会議

大学の学生か、学生の大学か

教育＝自己による自己の加工
学館闘争は学生団結への転換点

川本　誠治

本校一号館前にバリケードを構築、一月十三日夜　撮影　常盤通、文藤、球

卒業試験阻止のため、中央大学杉並高校正門に、自ずからバリケードを築き、ピケット・ラインを張る四年生＝二月十日早朝

すなわち学分離は学分（教養学部教育課程）のカリキュラムをきちんとしたものにすべきであるとの要求の結合である。この要求は、学生の学問の成果であるが故に、学問の結果として学生団結の成果であるとも言える。この二つのテーマは自己解放の学生運動であるとも言われている。この自己解放の学生運動は、学生にとって、自己解放の学生運動の一環である。自己解放の学生運動は、学生にとって